

# 令和7年度事業報告

## I 事業報告

### 1 協会を取り巻く情勢と協会活動

世界的に社会経済情勢の先行きが見通せない中、原材料価格の高騰やそれに伴う物流費や人件費の上昇が際立っている。

長岡市においても、人口減少・少子高齢化及び人手不足や物価高騰などにより市民生活は大変厳しい状況が続いている。

また、建設業界では、前述の社会情勢に加え若手技術者をはじめとした人材確保が思うようにできず、相変わらず厳しい状況で推移している。

このような状況であるが、令和7年度における協会活動は、総務委員会及び技術委員会の活動をはじめ、市長要望、市関係部署や市議会との意見交換会、会員研修旅行、会員親睦ゴルフ大会など例年どおり実施することができた。

### 2 長岡市に対する要望活動

会員各位の質問・意見等を踏まえ、長岡市に次の4点について重点的に要望を行い、下記の回答を得た。

#### (1) 「普通建設事業費」の増額について

近年の資材費の高騰、労務単価の上昇など厳しい状況の中、公共施設の適切な建設と維持管理が求められているため、地域の安全安心を維持できるよう事業費の確保に努める。

#### (2) ランク確定後の発注公告について

前年度工事の成績を反映した各社のランクの確定については、これまで5月1日から適用してきたが、集計が整い次第適用する。

ただし、早期発注を要する工事は新ランクの確定を待たずに行う必要がある。

#### (3) 積算期間の見直しについて

大型連休前に入札公告を行う場合、働き方改革を推進していく観点から積算期間の延長について検討する。

#### (4) 設計変更ガイドラインについて

建築工事については、発注者と受注者が対等の立場で設計変更の協議が行われるよう適切な運用に努める。

土木工事の設計変更ガイドラインは、今年度中の完成・公表を目指す。

(※令和8年3月 策定・公表)

※長年要望してきた「変動型入札制度の変更」は、令和7年9月から県に準じた制度に変更されたため、令和7年度は要望しなかった。

※当協会役員と市議会市民クラブとの意見交換会を昨年に引き続き開催し、入札・契約に関する課題を理解いただくとともに長岡市に対する要望活動に関する助言や指導を得た。

### 3 予算運営

当協会の受注額は、平成30年度から毎年減少してきたが、令和5年度に5年ぶりの増加に転じ、100億円を超え、翌令和6年度も100億円を超える受注額となったが、令和7年度は81億円と大幅に落ち込んだ。

収入では、平成14年度から会費基準表の1ランク下位の金額で納入してきたが、財政的に厳しくなったため、令和7年度から会費基準表の正規額に変更した。

支出では、これまでの事業内容を精査して経常的経費の見直しや受益者負担の適切な導入を行うなど、限られた予算を効率的に執行するとともに経費節減に努めた。

### 4 協会事業等の取組み

#### (1) 災害時の応急対応及び復旧支援事業

①長岡市との災害等に係る緊急を要する工事に関する協定に基づき、拡幅が困難な市道の緊急排雪要請に対し、即時対応した。(市内4か所)

本協定に基づく要請は、平成29年11月豪雨災害による堆積土砂撤去依頼8年ぶりである。

②例年どおり長岡市の道路等の除雪、要援護世帯の屋根雪下ろし制度等に協力した。

#### (2) 環境美化運動

各地域で開催される「まつり」の清掃活動等に地域の会員が参加した。

① 長岡地域は、「長岡まつり大花火大会」の花火会場早朝清掃

② 小国地域は、「小国桜まつり」の会場設営及び清掃活動

③ 栃尾地域は、「とちお遊雪まつり」の会場準備活動

#### (3) 建設業の施策の調査研究

会員研修旅行を10月16日～18日の間で実施した。

#### (4) 建設業の施策の普及

昨年に引き続き、『長岡市公共工事に関する情報交換会』を2月18日に開催し、制度改正等について説明を受けるとともに意見交換を行った。

### 5 広報・情報提供

#### (1) 広報誌の発行

広報誌「ながおか建設だより」を1月15日に発行した。

#### (2) ホームページの更新

協会の活動状況や経営状況等必要な情報を広く伝えるため、ホームページを逐次更新した。